

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	京都精華大学						
事業名	交換留学生と高校生の交流による地域文化の再発見と共同制作						
実施期間	2025年10月15日、11月5日、12月13日						
場 所	京都市内（京都市立美術工芸高校）＋ 丹波篠山町 ＋ 大阪万博記念公園						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	8	31	0	0	2	4	45名

<実施内容>

本助成金を得て実施した事業では、半年間京都精華大学において学修する交換留学生と京都市内にある美術系の公立高校である京都市立美術工芸高校の生徒が3日間にわたり共同で交流活動を行った。その概要は以下の通りである。

(10月15日) 京都市立美術工芸高校の生徒たちの司会進行の下、各留学生の出身国・故郷の街、自身の作品ポートフォリオの発表を行った。一方で、5、6人のグループごとにテーブルに分かれ、各自が自己紹介をし、ゲーム等を通して交流した。

(11月5日) 2日目はまず日本についての歴史や文化をクイズ形式にしてテーブルごとに回答するゲームを行った。その後、用紙した画材を使ってメキシコの「死者の日」にちなんだマスクを各自が制作するワークショップを行った。

(12月13日) 最終回の3日目は美術やデザイン、工芸を学ぶ学生同志で伝統的な日本文化と現代アートを探訪するという趣旨の研修で、兵庫県丹波篠山市と大阪府吹田市の万博記念公園を訪問した。丹波篠山市では計39名の学生・生徒が留学生を含む6つの班に別れ、それぞれが事前に調べたルートに沿って街を見学した。丹波城跡や伝統建築群、丹波焼などの工芸、郷土料理などの食文化、伝統産業を活かした町おこしなどの現状を学ぶことができた。その後に訪問した万博記念公園では、岡本太郎による「太陽の塔」の内部を見学し、日本の伝統と現代が融合したアート作品を鑑賞した。各参加者が持つ国境を越えた交流を通し、様々な文化的背景を理解し、友情を育むことができた。

<写真>



第1日目：交流風景



第2日目：仮面共同制作



第3日目：伝統文化と現代アート研修

<参加者からのコメント>

キース・スペンサー (アメリカ) / Keith Spencer (USA) 北脇 学 (日本)

I found this program to be quite successful. Through classroom games, group workshops, and field trips, the high school students and the university exchange students were able to interact in a wide variety of contexts. The episodic nature of the program meant that students gained familiarity with each other, allowing even shy students to bond over shared experiences. I see great potential to use events like this to strengthen relationships between both students and academic institutions. I am personally thankful that I had the opportunity to experience these activities with a wonderful group of students and staff.

3日間に亘った本事業ほどの回も驚くほど自然に楽しく、笑い笑顔でいっぱい盛り上がりをもって実施することができた。アート作品の共同制作ではお互いの持つ文化的な背景の理解をも得ることができ、また日帰りバス旅行での研修も建築や工芸など地域の伝統文化や現代美術に対する理解を交流を通して深く体感することができた。このような機会を実現させてくれた貴財団の助成には大きな感謝の気持ちに堪えない。

団体名	Kyoto Seika University
事業名	Collaborative Projects: International Students & High Schoolers Rediscover Local Culture